

令和7年度当初予算のポイント・主要事業

1 予算調製にあたっての基本的な考え方

令和7年度は、全国的に増加している旅行需要を県内に着実に取り込むため、国内外の旅行者から選ばれる三重県を目指し、持続可能な観光地づくりや戦略的な観光誘客に取り組めます。

本県における日本人延べ宿泊者数はコロナ禍前を超えているものの、外国人延べ宿泊者数は令和6年の日本全体の訪日外客数が過去最多を記録するなか、コロナ禍前まで回復していない状況にあります。

そこで、国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化等の取組を支援するとともに、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成、上質な宿泊施設の立地促進等に取り組むほか、観光産業における人材不足が深刻化している状況をふまえ、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を一体的に支援することにより「持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実」に取り組めます。

また、海外OTA（オンライン旅行会社）等を活用した情報発信や、観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション、奈良県や和歌山県と連携し紀伊半島として広域での海外からの高付加価値旅行者の誘客に取り組むとともに、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略を検討するなど「戦略的なインバウンド誘客の推進」に取り組めます。

さらに、大阪・関西万博を契機とした県内への誘客に向けたプロモーションや、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い旅行者層の誘客に向けたプロモーションに取り組むとともに、第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、式年遷宮を見据えて部局横断的に取組の検討を進めるなど「国内誘客プロモーションの推進」に取り組めます。

2 主な重点項目

(1) 持続可能な観光地の実現に向けた受入環境の充実

国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化等を支援するとともに、熊野古道沿線のトイレの環境整備を支援するほか、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成や宿泊施設の誘致に取り組めます。また、全県DMO（観光地域づくり法人）である（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域のDMO支援に取り組めます。さらに、DMO等を中心とした滞在型の観光コンテンツの磨き上げや提供・販売体制の構築等の取組を支援します。加えて、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を一体的に支援することにより「持続可能な観光地づくりに向けた受入環境の充実」に取り組めます。

《主な事業》

① (一部新) 観光客受入環境整備事業	予算額	647,577千円	[観光振興課 (224) 3116]
② (一部新) 全県DMO経営基盤強化事業	予算額	203,305千円	[観光振興課 (224) 3116]
③ (一部新) 拠点滞在型観光推進事業	予算額	37,026千円	[観光振興課 (224) 3116]
④ (一部新) 観光産業支援事業	予算額	41,991千円	[観光戦略課 (224) 3115]

(2) 戦略的なインバウンド誘客の推進

全国的に増加するインバウンドを本県に着実に取り込むため、海外OTAや検索サイトにおける広告配信や、インフルエンサーの発信力を活用した情報発信、観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション等に取り組みます。また、奈良県や和歌山県と連携し紀伊半島として広域での海外からの高付加価値旅行者の誘客に取り組むとともに、レップ（営業代理人）や商談会への参加等によるプロモーションに取り組みます。さらに、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の検討を進めます。

《主な事業》

① (一部新) プラス三重旅促進事業	予算額	18,042千円	[海外誘客課 (224) 2847]
		(78,042千円 ※R6年度2月補正予算含みベース)	
② (新) 海外誘客推進プロジェクト事業	予算額	108,246千円	[海外誘客課 (224) 2847]
		<事業実施期間：令和7年度～令和9年度>	
③ (一部新) 海外MICE誘致促進事業	予算額	34,075千円	[海外誘客課 (224) 2847]
④ (一部新) 産業観光推進事業	予算額	13,568千円	[海外誘客課 (224) 2847]
⑤ (一部新) 高付加価値旅行者層誘致促進事業	予算額	65,291千円	[海外誘客課 (224) 2847]
⑥ (一部新) 観光データ調査事業	予算額	58,290千円	[観光戦略課 (224) 3115]
		(60,620千円 ※R6年度2月補正予算含みベース)	

(3) 国内誘客プロモーションの推進

大阪・関西万博を契機とした県内への誘客に向けたプロモーションや、首都圏等大都市圏の比較的消費単価の高い旅行者層の誘客に向けて、SNSやテレビ等の多様な手段を活用した観光プロモーションに取り組みます。また、観光需要の平準化を図るため、平日を対象とした体験コンテンツの利用促進等により県内周遊を進めるとともに、教育旅行の誘致促進に取り組みます。さらに、第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、部内の「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」や「式年遷宮に向けた庁内ワーキング」において、部局横断的に中長期的な取組の検討を進めます。

《主な事業》

① 観光誘客促進事業	予算額	87,028千円	[観光誘客推進課 (224) 2802]
② 大都市圏プロモーション事業	予算額	122,702千円	[観光誘客推進課 (224) 2802]
③ 観光需要平準化促進事業	予算額	43,485千円	[観光誘客推進課 (224) 2802]
		(85,198千円 ※R6年度2月補正予算含みベース)	
④ (一部新) 観光客受入環境整備事業 (再掲)	予算額	17,870千円	[観光振興課 (224) 3116]

令和7年度 観光部関係当初予算総括表

単位：千円

区 分	令和6年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	前年度 比較増減 (B-A)	B/A
一般会計	2,459,837	(2,407,305) 2,302,908	(△52,532) △156,929	(97.9%) 93.6%
商工費	2,459,837	(2,407,305) 2,302,908	(△52,532) △156,929	(97.9%) 93.6%

※令和7年度当初予算額の()書きは令和6年度2月補正予算を含んだ額

持続可能な観光地の実現に向けた受入環境の充実

観光振興課
①②③059-224-3116

観光戦略課
④059-224-3115

国内外の旅行者が快適に滞在できる環境を整えるため、宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化等を支援するとともに、バリアフリー観光の推進や高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成や宿泊施設の誘致に取り組みます。

また、（公社）三重県観光連盟の基盤強化を通じて地域のDMO支援に取り組むほか、DMO等を中心とした滞在型の観光コンテンツの磨き上げや提供・販売体制の構築等の取組を支援します。さらに、観光事業者の生産性向上や人材確保の取組を一体的に支援します。

（1）旅行者を受け入れる環境の充実

①（一部新）観光客受入環境整備事業 647,577千円

- ・ 宿泊施設の和洋室化やトイレの洋式化及び世界遺産熊野古道伊勢路沿線のトイレの環境整備への支援
- ・ 宿泊施設の開発に関する専門的知見を有するアドバイザーを活用した、宿泊施設の誘致に向けた取組の実施
- ・ 高付加価値旅行者層のニーズに対応できる観光ガイド人材の育成
- ・ バリアフリー観光の推進に向け、旅行者の情報収集、手配・予約、移動など旅をトータルでサポートするため、旅行会社等の事業者の連携を促進



宿泊施設の和洋室化による高付加価値化改修

（2）DMOを中心とした持続可能な観光地マネジメントの確立

②（一部新）全県DMO経営基盤強化事業 203,305千円

- ・ 全県DMOである（公社）三重県観光連盟が観光地経営の司令塔としての役割を担い、地域DMOへの支援業務を着実に実施するための基盤強化
- ・ 三重県観光連盟が官民連携で実施するインバウンド向けプロモーション及び国内向けプロモーションの取組を支援

（3）三重の特色を生かした滞在型観光の推進

③（一部新）拠点滞在型観光推進事業 37,026千円

- ・ DMO等を中心とした地域における歴史・文化や自然、食等の三重ならではの観光資源を生かした滞在型の観光コンテンツの磨き上げや、提供・販売体制の構築などの取組を支援



“魚まち”の生節加工工場の見学
（紀北町）



伊賀くみひもでの香袋作り体験
（伊賀市）

（4）観光産業の生産性向上・人材確保

④（一部新）観光産業支援事業 41,991千円

- ・ 観光産業における人材不足等の課題解決に向け、事業者向けのセミナーや個別コンサルティングの実施により、観光事業者の生産性向上・人材確保に向けた取組を一体的に支援
- ・ 観光産業の魅力向上に向けた県内観光事業者の先進的な取組等の発信



観光事業者向けセミナーの実施

戦略的なインバウンド誘客の推進

海外誘客課
①②③④⑤⑥⑧059-224-2847

観光戦略課
⑦059-224-3115

全国的に増加するインバウンドを本県に誘客するため、海外O T A（オンライン旅行会社）やインフルエンサーの発信力を活用した情報発信を強化するとともに、観光誘客に重点的に取り組む市場において観光・物産・食が一体となったプロモーションを実施します。また、奈良県や和歌山県と連携し紀伊半島として広域での高付加価値旅行者の誘客に取り組みます。さらに、より効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の検討を進めます。

(1) インバウンドプロモーションの推進

① (一部新) プラス三重旅促進事業 78,042千円

(※R6年度2月補正予算含みベース)

- ・ゴールデンルートや近隣県へ旅行を計画している旅行者に向けた海外OTAや検索サイトによる広告配信の実施
- ・大阪・関西万博の機会を捉えた万博会場・関西国際空港での観光P R

② (新) 海外誘客推進プロジェクト事業 95,635千円【一部】

- ・観光誘客に重点的に取り組む市場における観光・物産・食が一体となったプロモーション
- ・レンタカーでの県内周遊の促進に向けたプロモーション
- ・インフルエンサーの発信力を活用した情報発信

③ (一部新) 高付加価値旅行者層誘致促進事業 5,000千円【一部】

- ・フランス市場からの福利厚生旅行等の誘致に向けた、観光セミナーの実施及び旅行会社の視察の受入れ

(2) MICE・産業観光の推進

④ (一部新) 海外MICE誘致促進事業

34,075千円

- ・MICE誘致促進補助金を拡充し、新たに海外企業の会議と報奨旅行を対象に追加
- ・海外から企業関係者が参加する会議や報奨旅行の誘致に向けたモデルコースの造成と情報発信



伝統工芸品(伊勢木綿) 工場の視察

⑤ (一部新) 産業観光推進事業 13,568千円

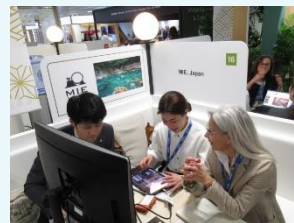
- ・海外企業の研修・視察旅行の誘致促進及び県内での宿泊に向けたプロモーションと視察受入企業の裾野拡大

(3) 海外の高付加価値旅行者層の誘客促進

⑥ (一部新) 高付加価値旅行者層誘致促進事業 (再掲)

60,291千円【一部】

- ・欧州レップ (営業代理人) によるプロモーション
- ・奈良県、和歌山県等と連携した、紀伊半島など広域でのプロモーション



旅行会社との商談会



フランスでのトップセールス



海外の旅行会社による県内視察

(4) データマーケティングの充実

⑦ 観光データ調査事業 60,620千円 (※R6年度2月補正予算含みベース)

- ・位置情報を活用した人流データ等のリアルタイム性の高いデータをもとにインバウンドの動態・消費動向を分析
- ・県内宿泊施設に対するインバウンドの受入状況及び多言語対応が可能な人材の配置状況等の受入環境の調査・分析

(5) インバウンド誘客に関する戦略の検討

⑧ (新) 海外誘客推進プロジェクト事業 (再掲)

12,611千円【一部】

- ・効果的なインバウンド誘客に向けた戦略の検討

国内誘客プロモーションの推進

観光誘客推進課
①②③059-224-2802

観光振興課
④059-224-3116

大阪・関西万博を契機とした県内への誘客に向けた企画きっぷや旅行商品のプロモーションを実施するとともに、首都圏等大都市圏の比較的消费単価の高い旅行者層の誘客に向けて、SNSやテレビ等の多様な手段を活用した観光プロモーションに取り組みます。

また、観光需要の平準化を図るため、平日を対象とした体験コンテンツの利用促進等により県内周遊を進めるとともに、教育旅行の誘致促進に取り組みます。

さらに、第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、部局横断的に中長期的な取組について検討します。

(1) 大規模イベント等を契機とした観光誘客の推進

① 観光誘客促進事業 87,028千円

- ・大阪・関西万博を契機として県内への誘客を促進するため、交通事業者と連携した企画きっぷと旅行商品の販売促進に向けたプロモーションを実施
- ・株式会社ポケモンと連携した県内への観光誘客及び周遊促進
- ・県内において撮影された映画やドラマ等のロケ地情報や周辺の観光地情報の発信



(2) 大都市圏における観光プロモーションの推進

② 大都市圏プロモーション事業 122,702千円

- ・首都圏を中心とした大都市圏の比較的消费単価の高い旅行者層の誘客に向けた、SNSやテレビ等の多様な媒体を活用したプロモーションの展開

(3) 観光需要の平準化と県内周遊の促進

③ 観光需要平準化促進事業 85,198千円 (※R6年度2月補正予算含みベース)

- ・平日を対象とした体験コンテンツの利用促進や高速道路を活用した県内周遊プランの実施
- ・県外からの教育旅行の誘致に向け、旅行会社へのセールスやポータルサイトを活用した情報発信を実施

(4) 第63回神宮式年遷宮に向けた中長期的な取組の始動

- ・第63回神宮式年遷宮に向けたさまざまな行事が始まることから、来県者をおもてなし取組の効果が全县に波及するよう、「式年遷宮を契機としたおもてなし推進チーム」や「式年遷宮に向けた庁内ワーキング」において、部局横断的に中長期的な取組について検討

④ (一部新) 観光客受入環境整備事業 17,870千円【一部】(再掲)

- ・地域における第63回神宮式年遷宮に向けた機運醸成や受入体制の強化の取組や「伊勢志摩観光MaaS推進協議会」が実施する観光MaaSの取組を支援

3 その他の主要事業

政策名・施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p>《政策名：観光・魅力発信》 (施策名：(5-1)持続可能な観光地づくり)</p> <p>1 観光戦略費 12,322千円 【(5-1-3)受入れ環境の整備】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 旅行者の安全を確保し、安心して快適な観光旅行を提供するため、観光防災マニュアル作成に向けた取組等を実施するとともに、観光施策に関する課題解決の方向性を検討します。</p> <p>(施策名：(5-2)戦略的な観光誘客)</p> <p>2 海外プロモーション推進事業 27,738千円 (28,092千円 ※R6年度補正予算含みベース) 【(5-2-3)インバウンドの誘客】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) JNTO(日本政府観光局)や広域連携DMO、近隣府県、県内観光事業者等と連携し、本県の認知度を高め、インバウンドの誘致を図るため、海外での旅行博覧会出展、商談会の開催、県内へのメディアや旅行会社の招請等に取り組みます。</p> <p>3 日台観光交流推進事業 6,367千円 【(5-2-3)インバウンドの誘客】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 台湾との観光交流をさらに発展させ、将来の県内への誘客につなげるため、新北市との交流に取り組むとともに、新北市及び高雄市を中心に台湾からの誘客を目的とした教育旅行の誘致を図ります。</p>	<p>観光戦略課 (059-224-3115)</p> <p>海外誘客課 (059-224-2847)</p> <p>海外誘客課 (059-224-2847)</p>
<p>《政策名：農林水産業》 (施策名：(6-4)農山漁村の振興)</p> <p>4 農泊の推進・レベルアップ事業 8,937千円 【(6-4-1)人や産業が元気な農山漁村づくり】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 農山漁村ならではの「食」、「泊」、「体験」を楽しむ「農泊」の取組を加速推進するため、地域資源活用の更なるブラッシュアップに向けた研修会の開催、新たな需要の獲得に向けた企業の研修等に活用できる体験プログラムの実証などに取り組みます。</p> <p>5 (新)農山漁村インバウンド受入加速化事業 7,000千円 【(6-4-1)人や産業が元気な農山漁村づくり】 (第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費) 農山漁村における収益の確保につなげるため、訪日外国人旅行者に対する農山漁村への観光ニーズに特化したマーケティング調査の実施、調査を基にした満足度の高い体験プログラムの開発への支援に取り組みます。</p>	<p>農山漁村づくり課 (059-224-2551)</p> <p>農山漁村づくり課 (059-224-2551)</p>

政策名・施策名及び事業の内容	担当課・電話番号
<p>《政策名：福祉》 〈施策名：（13-1）地域福祉の推進〉 6 （一部新）ユニバーサルデザインタクシー導入推進事業 15,600千円 【(13-1-4)ユニバーサルデザインのまちづくりの推進】 （第7款 商工費 第1項 商工業費 10 観光振興費） 全ての人の安全で円滑な移動に向けて、UDタクシーを導入する事業者等に対して補助を行います。</p>	<p>家庭福祉・施設整備課 (059-224-2271)</p>